

婦負の野



ISO9001認証取得

〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)社浦 秋水先生

立山連峰から昇る朝日を浴び、神々しい光に包まれる
富山県高岡市の「雨晴(あまはらし)海岸」。

ここは万葉集では「^{しぶたに}渋溪」と詠まれ、現在めひの野園に
9棟あるグループホームの1つ「渋溪寮」の寮名はこれに
由来しています。

mehino
40th
Anniversary

特集

めひの野園のルーツをめぐる
めひの万葉歌紀行
「地域のグループホーム」

mehino
40th
Anniversary

めひの野園のルーツをめぐる

めひの万葉歌紀行

第3回

めひの野園では、法人名を始め、事業所名のほとんどが「万葉集」から名付けられています。1990年(平成2年)に、知的障害者福祉ホームとして「群竹寮」を建設し、その後も「若月寮(平成3年)」、「渋溪寮(平成4年)」、たち山寮(平成5年)と、地域に次々とグループホームを開設しました。これらの寮名も万葉歌が由来になっています。

「渋溪寮」の由来の歌

馬並めて いざうち行かな

渋谿の 清き磯廻に

寄する波見に

(大伴 家持)

馬を並べ、さあ出かけよう。渋谿の清らかな磯辺に打ち寄せる波を見に。



心が清らかになるような景観をカメラに収めようと、多くの人が訪れる雨晴海岸。

「渋谿」とは？

歌にある「渋谿の磯」とは、現在の雨晴海岸のことです。天平18年(746年)8月、家持が国守として越中に赴任してほどなく夜宴が開かれました。その宴もそろそろお開きの頃合いに、宴の主催者である家持は「もう少し楽しみたい」と思ったのでしよう。「国守館から出て、清らかな波が打ち寄せるのを見に行こう」と提案したという歌です。

海のない大和盆地に育った家持にとって、「渋谿の磯」に打ち寄せる白波は鮮烈に映ったのかも知れません。

今でも見る人の心を惹きつけてやまないその景観は、富山県を代表する観光スポットになっています。



高岡一宮気多神社境内の歌碑。

「若月寮」の由来の歌

振り放けて 若月見れば

一目見し 人の眉引き

思ほゆるかも

(大伴 家持)

振り仰いで三日月を見ると、一目見たあの人の眉が自然と思いき起こされる。

ある夜、ふと上を向くと三日月が出ていた。「あの時に一目見たあの人の眉のようだ」。家持は16歳にしてこの歌を詠んだとされています。

越中国守に赴任する前の多感な時期に、一目見た女性への繊細な思いを詠んだこの歌が由来となった「若月寮」は、めひの野園で最初の「女性専用のグループホーム」として開設され、今でも利用者の笑顔が絶えないマイホームになっています。



いつも温かい雰囲気「若月寮」。



めひの万葉めぐりマップ

「たち山寮」の由来の歌

たちやま
立山に 降り置ける雪を

とこなつ
常夏に 見れども飽かず

かむ
神からならし

(大伴 家持)

——立山に降り積もった雪は夏でも消えず、見飽きることはない。神の山だからであろう。

立山は「神の山」？

立山とは富山県南東部にそびえる立山連峰を指し、古くは「たちやま」と呼ばれていました。

夏でも雪が残る崇高な姿から、立山は古来より神山・霊山として山岳信仰の対象となってきました。

万葉の時代は4月から6月が夏とされています。夏なのに雪が積もった立山の山なみを、越中に赴任して初めて目にした家持が見飽きることなく眺め、「神の山に違いない」と詠んだのも無理はありません。



家持が政務を執っていたとされる国庁跡に程近い場所から見た立山連峰。現在は新湊大橋が渡され、新たな景観が広がっています。



呉羽山旧天文台登り口にある歌碑。

「群竹寮」の由来の歌

わが屋戸の いささ群竹

吹く風の 音のかそけき

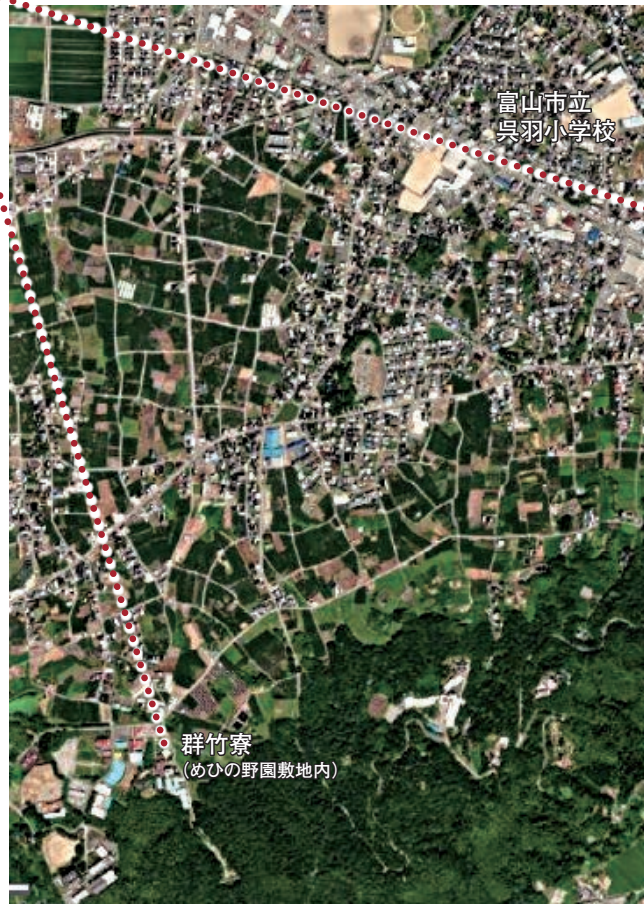
この夕べかも

(大伴 家持)

——私の家の少しばかりの竹の茂みに吹いている風の音が、かすかに聞こえるこの夕暮れよ。



高岡万葉歴史館にある歌碑プレート。



富山県立
呉羽小学校

群竹寮
(めひの野園敷地内)

「地域に溶け込んで生活を」との 思いで開設したグループホーム

「たとえ障がいがあっても地域で当たり前の生活を」という設立者の思いで「群竹寮」が福祉ホームとして開設されて30余年。これまで、めひの野園は富山県呉羽の地に9棟のグループホームを開設してきました。利用者一人ひとりの特性に寄り添った「合理的配慮」による支援を続け、その実践が実を結び、今では重複障害の方、自閉傾向の強い方など、様々な特性の方がグループホームで生活しています。

お堅いイメージだった家持ですが、夜更がお開きムードの時に「みんなまで海に行こうぜ」と誘うあたり、意外に好きだったのかもしれない。

記・広報委員会 岡崎 秀徳



高じた趣味を仕事に活かす「めひのの職員」紹介します!

ウォーム・ワークやぶなみ
みしまの工房 ペレット班



岡崎 秀徳

楽しい仕事をする
ではなく、
楽しく仕事をする!

めひの野園40年の歴史が詰まった
記念誌がついに完成!

Q. 美術の勉強はずっと続けてきたので
すか?
—— 高校の美術教師を目指し、大学では
美術を専攻していましたが、採用試験を
5回も挑戦したのに叶いませんでした。
そんな時に知人の紹介で、当時園長をさ
れていた中田勉めひの野園創立者(故)
にお会いすることが出来たのです。
Q. その時はどんなお話をされたのです
か?
—— 「絵画教室で、子どもら(利用者)
に絵を教える仕事は出来るか?」と。教
えると言っても、ただ描きたいように描
かせてあげればよい」と言われました。

そして、「絵を描くのが好きなら、園の
広報紙にマンガでも描いてみよう」と言わ
れ、広報紙に関わることになったのです。
Q. その一年後には広報委員長として、
園の広報活動を一任されていますね?
—— 当時の広報紙はモノクロ印刷で、今
よりも文章が多く、難しい内容の記事が
多いな、という印象でした。「どうせ作
るならもっと良いものにした」と、ま
ずはカラー印刷に変え、より見やすく、
分かりやすい内容にすることを考えてい
ました。
去年は「写真をもっと充実させたい」

あした の めひの

Vol.26



40周年記念誌の撮影で、営業・販売課の皆さんをパチリ。そこで撮れたのが右の写真。「職員のコメント」のコーナーに使われました。

という思いから「写真部」の創部を園長
に相談したところ、快諾していただきま
した。やりたいことに挑戦させてもらえ
る土壌があるのはありがたいことでは
ね。
Q. 紙面制作のコツはありますか?
—— 「文章力」よりも「聴く力」のほう
が大切だと思っています。自分の意見や
感想を小難しく書くよりも、当事者に直
接話を聞きに行き、そこで色々な思いが
引き出せたり、意外な答えが返ってきた
りして、より面白い記事が書けるのでは
ないかと思っています。
Q. 今後の展望は?
—— 少し時間がかかりましたが(笑)、
ついに40周年記念誌が完成しました。職
員や利用者の笑顔があふれる記念誌にな
ったと自負しています。「みんな、こんな
に素敵な笑顔で仕事をしているんだよ」
と気付いてもらえたらと思います。
広報活動には、園の外部へ情報を発信
する役割もありますが、それだけではなく
「内部効果」と言える力があると思っ
ます。職員の皆さんが、自分自身でも気
付いていない素晴らしい利用者支援や頑
張りを取材を通して引き出すことが、そ
れぞれのモチベーションアップにつなが
ればと思っています。
委員長の、妥協することなく原
稿と向き合う姿勢、尊敬します!
記：広報委員会 柴田 香菜江



めひの野園のオススメ新商品を紹介します！

Mehino +

めひの プラス



「食彩部門」から満を持して新登場！

●●● 平飼いたまごの塩ゆでたまご ●●●

めひの野園では、バラエティに富んだ新商品が日々考案されています。今回紹介するのは、めひの野園自慢の「平飼い卵」を使った「塩ゆでたまご」。手掛けたのは「ウォーム・ワークやぶなみ食彩部門」の酒井指導員です。商品開発のきっかけは、「コンビニで販売しているゆで卵が好きだったから」とのこと。「めひの野園の『平飼い卵』で作れば、きっと美味しく出来るはず」と、自信を持って作ってみたのですが、そんなに簡単ではなかったようです。



平飼いで伸び伸び育った鶏の卵は、これまで「パック卵」や「燻製卵」として販売されてきました。

開発当初は、「卵を茹でて、塩味を付けるだけの簡単な作業でしょ?」と思っていたと言う酒井指導員。ところが実際に作ってみると、市販の食塩では塩味ばかりが強くなり、味の濃さも均一にならなかったのだとか。3カ月間の試作を重ねて辿り着いたのが「能登島産の粗塩」。ミネラルを多く含む粗塩だからこそ、卵本来の美味しさが活かされ、中田園長お墨付きの味に仕上がったそうです。



こだわりの塩調味料に漬け込んだ卵を封入する利用者さん。

「美味しさはもちろんですが、お子様のお弁当や、おつまみにも手軽に使っていただける商品になっていると思います」と自信をのぞかせる酒井指導員。そんな「塩ゆでたまご」は、めひの野園のアンテナショップ「希望」や、各種イベントにて販売中です。

お手軽で美味しい「塩ゆでたまご」は、1袋に2個入って120円で販売中です
記・広報委員会 宮舟貴子



群竹 muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



ウォーム・ワークやぶなみ
食彩部門職業指導員
酒井 いづみ

”会長”へ

ある日、当時私が勤務していた病院に80代の男性が入院してきた。職員とも気さくに話をしてくれるその人は、いつしか「会長」と呼ばれるようになった。毎日必ず誰かが、ましてや週末ともなるとたくさんの方が次々と病室を訪れ、笑い声が絶えない432号室。どんなに体調が悪くても「誰か来たら起こしてくれ」、そう言ってみ舞客と笑顔で会話をしている姿を何度見ただろう。夕方誰も居なくなった病室を訪れると、さっきまでいた人たちの苦労話や子供たちの話をたくさん聞かせてくれた。

「誰も面倒見てくれん奴ら、誰か見てやらにやダメやろが」。そう話し、涙を浮かべながら利用者から届いた葉書を眺めていたのも印象深い。毎日、機械のようにオムツ交換や排泄、入浴、食事介助に追われていた私にとって、会長との時間は癒しだった。

私は今、あなたが創設した「めひの野園」で働いている。毎日が刺激的で、大変なこともたくさんあるけれど、ふと気付くと利用者のことを考えてる自分がある。心配なのかどうなのか、時々夢に出てくる會長。

「私は毎日利用者さんと楽しく過ごしています」。あなたとの出会いが自閉症、そしてめひの野園と私を結びつけてくれたから。これからもあなたの教えのように、『まだ手が差しのべられていない人たちに手を差しのべ、その障害を理解し心の扉を開いてもらえるように』歩み寄っていきます。



めひの
キラリ！人
Vol.10

今回のキラリ！人
作業センターふじなみ
池原 律子さん

作業中にいつも身にまとっている、大好きな「チェンジマン」の衣装も全て手作りです。

めひの野園では、「利用者さんの出来ること、得意なこと、好きなことを活かし、仕事につなげていく」ことをモットーに支援をしています。利用者さんの中には、自分の仕事に没頭するうちに素晴らしい技術を身に付け、いつしか「めひのの職人」と呼ばれている人々がいます。そんな「キラリ！」と光る「めひのの職人達」を紹介します！

県内の福祉事業所でも随一の技術。今回の職人は人呼んで、めひのの

「ミシン職人」です。

「みしまの工房はたおり班」には、「富山県社会就労センター協議会」を通じ、行政などから「図面袋」という商品の注文が入ってきます。A4サイズに畳んだ図面などを整理するのに適したこの商品ですが、富山県内の福祉事業所に共同受注の割り振りを手配する同協議会にとってはちょっととした悩みの種が…。

それは、「あまりにも作業工程が多いため、同じ品質で大量に製作出来る事業所が無い」ということ。この重責を一人で担っているのが、「めひののミシン職人」こと、池原律子さんなのです。



A4サイズの書類がピッタリ収まる「図面袋」。

普段は椎茸工場の作業センターふじなみで、台車運びや箱作りに取り組んでいる池原さんですが、以前に縫製工場で働いていた経験もあって、ミシン仕事は手の物。毎週月曜日の午後、「みしまの工房はたおり班」で作業するのが楽しみで、「自然にファイトが入ります！」と話す池原さん。

指導されている吉田先生（手芸教室講師）によると、「少しずつ出来ることが増えていきます。でも彼女は寂しがり屋なので、職員とお話をしながら仕事をするのが楽しいみたいです」とのこと。

池原さん、これからも得意なミシン作業を活かして、図面袋を待っている人たちのために頑張ってくださいね！

多い時はひと月に100枚も作ると言うからすごい根気です！

(記・岡崎 秀徳)



めひの野園
祝！
成人

今年めひの野園では2人の利用者さんが成人されました。新しい門出を迎えた2人を紹介します。

春の苑
羽廣 龍介さん



保護者より
人との関わりの中で育っていくものだと思います。出会いや繋がりを大切に、いつも笑顔で元気に過ごせるように願っています。

作業センターふじなみ
笠間 健士朗さん



保護者より
健士朗さん成人おめでとう。「雨ニモマケズ風ニモマケズ文句モ言ワズ」毎日真面目に出勤する姿を見て感心しています。これからも健康で頑張ってください。



水井翼

めひの野園野球部は、今シーズンの全日程を終了した。
めひの野園野球部は、呉羽リーグ優勝を成し遂げ、個人賞を独占するという結果になった。

めひのスポーツ 祝！中田監督 宙を舞う！

2022年度呉羽リーグV



地域の野球愛好家たちが熱戦を繰り広げた「呉羽リーグ」。2022シーズンを優勝で飾り、中田監督を胴上げするめひの野園野球部のメンバー。

Q. MVPに輝いた感想は？
— 受賞はもちろん光栄ですが、入部したばかりの自分、中田監督から「声を出してチームを盛り上げる」と、「リードオフマン」として、とにかく塁に出ること」という役割を与えてもらったことが何より嬉しかったですね！
Q. 来季の目標は？
— 自分に与えられた役割を

Q. 来季の目標は？
— 呉羽リーグでは優勝出来ましたが、富山野球協会朝間野球大会は決勝戦で悔しい思いをしました。やはり現状に満足することなく、高い目標に向かって意識を高めていく必要があると思います。



1年間戦い抜いためひの野園ナイン。

Q. チーム内首位打者の感想は？
— 個人の成績はともかく、チームの主将として感じるのは、このコロナ禍という現状の中でも野球への情熱を失わず、日々の練習や、試合を続けたこのチームへの感謝の思いです。



胸に刻み、来シーズンもこれまで以上に声を出し、チームに活力を与えることが出来るような選手になりたいと思います。それと、デッドボールを受けてでも、出塁数を増やしたいですね(笑)。

| 順位 | 対戦相手 | 勝敗 |
|----|--------|--------|
| ① | 焼肉 慶 | 6-6 △ |
| ② | スクラップス | 1-8 ● |
| ③ | パルマラット | 10-0 ○ |
| ④ | オスカー球団 | 7-3 ○ |
| ⑤ | 焼肉 慶 | 3-2 ○ |
| ⑥ | パブリンス | 13-3 ○ |

| 順位 | 対戦相手 | 勝敗 |
|----|----------|--------|
| ⑦ | ネットトヨタ富山 | 9-0 ○ |
| ⑧ | 本願寺フレッシュ | 3-0 ○ |
| ⑨ | オスカー球団 | 15-0 ○ |
| ⑩ | 北蔵野球クラブ | 0-6 ● |
| ⑪ | オスカー球団 | 8-8 △ |

2022年度チーム成績表



リーグ代表の村藤さんから表彰状やトロフィーが手渡されました。



▽最優秀選手賞 中塩映
▽最多安打賞 保木諭吉
▽最多打点賞 水井翼
▽最多四死球賞 室澤尚史
▽最多死球賞 河合佑太郎
▽最多勝利投手賞 中塩映

富山新聞社杯争奪呉羽リーグ記念大会(富山新聞社後援)の表彰式が11月11日、作業センターふじなみで行われ、7年ぶり3度目の優勝を果たしためひの野園野球部が表彰されました。チームの表彰に加え、最優秀選手賞の中塩映投手を始め、個人賞を獲得した各選手にも表彰状などが授与されました。

榮譽を讃えて 呉羽リーグ表彰式

やねのうえのガチョウ 電気オーブン整備完了

社会福祉法人富山県共同募金会からの令和四年度事業「赤い羽根共同募金助成金」を活用し、電気オーブンを整備しました。

より質の高い商品を作り、売上を向上させ、利用者の工賃アップに繋がりたいと思います。
ここに整備完了の報告を申し上げますとともに、感謝の意を表します。

記

- 一、総事業費 三二七万八千円
- 一、赤い羽根共同募金助成金 二四〇万円



ご寄付ありがとうございました。

(2022.9.21~2022.12.13) 敬称略

- 佐藤理容院 富山市
- 地域グループホーム世話人一同 富山市
- 竹部 昭子 高岡市
- 早瀬 義範 富山市
- 熊膳 勇 富山市
- 牧田 修明 富山市

来訪者

(2022.9.21~2022.12.13) 敬称略

- アイエッチファーム(株) 須澤 玉枝
- (公財)富山市体育協会 藤沢 智子
- (株)ダイドードリンコ北陸 定広 聡
- サントリービバレッジソリューション(株) 柞山 正志・小竹 孝典
- 日通リース&ファイナンス(株) 磯田 祐徳
- (株)SHIMARS 中山 直哉
- 富山県厚生部障害福祉課自立支援係 平内 由利・高井 智美
- 富山県農林水産部農業経営課 吉島 利則・柳瀬美智代
- 富山県厚生部障害福祉課 寶達 芳郎・倉田 翔平
- 富山労働基準監督署 竹折 拓哉・高嶋 哲郎
- 富山ヤクルト販売(株) 山本 美結
- にわや 小林 洋介

- 安田 成典 中新川郡 富山市
- 北川 忠 富山市
- 片田 弘 魚津市
- 金城大学 石川県白山市
- (福)いわみ福祉会 島根県浜田市
- 長井 悦子 富山市
- 全国社会福祉法人経営者協議会 東京都千代田区
- 富山短期大学 富山市
- 富山国際大学 富山市
- 福田 博之 射水市
- 竹本 潔史 富山市
- 亀山 知己 富山市
- 有岡 美恵子 富山市
- 今井 哲治 富山市
- 廣田 美千代 富山市

寄付金振込口座番号
北陸銀行呉羽支店 店番号120
普通預金60772330
社会福祉法人 めひの野園

後援会名簿

(2022.9.17~2022.12.11) 敬称略

- 高嶋 栄子 富山市
- 橋本 奈穂子 岐阜県飛騨市
- 田代 広之 富山市
- 田代 貞子 富山市
- 鍋島 朋子 下新川郡
- 青木 良成 富山市
- 浅井 貴代美 富山市
- 石政 明美 富山市
- 杉本 良子 富山市
- 杉本 明久 富山市
- 富田 聖子 富山市
- 成田 昭二 富山市
- 西村 孝浩 富山市
- 野村 利美子 富山市
- 廣田 雅俊 富山市
- 山本 幸夫 富山市
- 社会福祉法人上越福祉会 つどいの郷 宮野入 康・杉本 真規・池田 美雪
- 昭日電工マテリアルズ(株) 向 郁夫
- 日本ハムマーケティング(株) 宮澤 省二
- (有)青青編集 今牧 優美
- (有)タイセイツアーズ 金森 佳世
- 農林水産省農村振興局 小室 浩介
- 農村政策部都市農村交流課 阿南真太郎
- (株)ヤマダセンター 小室 浩介
- URS ジャパン(株) 中田 一郎・池淵 昌志
- 富山県火災共済協同組合 城村 賛
- 富山県厚生部障害福祉課地域生活支援係 長森 智昭
- 富山県厚生部障害福祉課生活支援係 山田亮太郎・谷内 奈央
- (株)カラフルカンパニー 小谷 朱音

後援会振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号140
普通預金4250590
(福)めひの野園後援会

編集後記

「お墨付き」とは「その品物が『本物であること』や、『確かな品質であること』を保証する」という意味の言葉で、例えば「食彩部門の新商品『塩ゆでたまご』の美味しさは、園長のお墨付きである」という具合に使われる。

もともとは室町時代や江戸時代に、將軍や大名といった身分の高い人が、自分の書状に「花押(かおう)」という署名を墨で書き、本物である証にしていたことからそう呼ばれるようになったそう。

本紙「めひの十(プラス)」のコーナーで紹介しているように、当園では新商品の開発に日々力を入れている。商品コンセプトの発案に始まり、生産計画の立案、原価計算、食材の吟味、製造方法の工夫、商品化までのプロセスは一般的な企業と大差ないと思うが、当園の場合は、もう一つ越えなければならぬハードルがある。それは「園長の舌」ではなく(笑)、「利用者がいかに生産工程に携わっているか」ということである。どれだけ良い試作品が出来たとしても、利用者が出て来ることや得意なことが仕事に活かされていなければ「お墨付き」はもらえない。

原材料費の高騰や、経済活動の鈍化など、課題が尽きない昨今ではあるが、それでも利用者の仕事を創出するために、ハードルを一つひとつクリアし、めひの野園ならではの一品を世に送り出すまで挑戦を続ける職員の姿を、今年も紹介していきたいと思う。

(岡崎 記)